

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

研 究 科	専 攻	試 験 科 目	参考書等持込
経済学研究科	経済学専攻	情報産業論研究	不可

【問題】

情報産業の発展は経済的・社会的格差を拡大させるとも縮小させるともいわれる。この二つの視点について具体的事例を挙げながら比較しつつ、自らの立場を明確にして論じなさい。

令和8年度 国土舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	経済学研究科 経済学専攻
試験期別	I期
試験区分	一般選考
試験科目名	情報産業論研究

■出題の意図

本問は、情報産業の発展が社会に与える影響について、二面的な視点を整理・比較し、受験者が自らの立場を根拠に基づいて論じる力を問うものである。

単なる事実の列挙ではなく、理論的背景・具体的事例・批判的検討などを組み合わせ、大学院修士課程レベルにふさわしい論述力を評価するものである。

■採点のポイント

1. 専門分野への理解

- ・情報産業の発展における、格差を拡大させるとの論点（例：プラットフォームの巨大化、デジタルデバイドなど）と、縮小させるとの論点（例：情報の民主化、知識・知能の遍在など）について理解しているか。
- ・関連する用語や概念の意味を理解し、適切に用いることができているか。

2. 課題への比較分析力

- ・拡大と縮小の双方の視点について、具体的事例やエビデンスに基づいた知見を交えて、比較整理できているか。
- ・両者の関係を論理的に検討できているか。

3. 論理構成力

- ・学術的な論述として適切な論理構成になっているか。
- ・主張と根拠が対応しているか。
- ・論理的な根拠の明示、適切な具体例の活用ができているか。

4. 表現力

- ・学術的論述にふさわしい文体、用語を用いているか。
- ・論旨が明確であるか。